

(Ⅱ－44) 水防の意義とありかた～平成3年水防演習を事例として～

関東学院大学

喜田愛子 高橋典子

伊藤麻由子 喜田裕子

関東学院大学 正会員 宮村 忠

1. はじめに

「水防」とは洪水から身を守るための手段であり、人々が生きていく為に必然的に発生した知恵といえよう。我が国では古来より地形的に氾濫が多く、稲作農耕文化の発展により「氾濫」は「水害」へと変化していった。人々は水との戦いの中で様々な水害自衛策―水防―を編み出してきた。したがって水防に対する考え方、手法は、各地域、各家庭、ひいては個人個人によって異なるのである。

やがて稲作農耕文化が発展していくと、為政者は河川を統一的に見るようになる。これが治水の発想である。近代になり、法制度にすべてが組み込まれていくようになると、行政上の「水防」が生まれてくる。

水防法第1条によると水防とは「洪水または高潮に際し、水災を警戒し、防御し、及びこれによる被害を軽減し、もって公共の安全を保持する」こととしている。また、建設省のパンフレット等では治水工事で不完全な部分を水防活動で補う、ということになっている。いずれにしても、治水あっての水防という考え方である。しかし、治水は国が全体の被害を最小限に抑える為に行うものである。つまり、水防と治水は異なる性質を持つものであるにもかかわらず、治水の補完的役割を前提とした「車の両輪」と理解されている。

ここでは、本来の治水と水防の構図を念頭におきつつ、現行の水防理解を踏襲してその演習を調査し、今後のあり方を追究した。

2. 調査方法

建設省8地方建設局と1開発局で平成3年実施された水防演習を参観し、現状を調査し、表―1にまとめた。

3. まとめ

9つの水防演習を通して以下のような問題点が見受けられた。

- ・日程を決定する際、水防団の意見が取り入れられていない。
- ・開、閉会式、巡視等の時間が長く、また水防工法実施に充てている時間も不適當で、効率的なプログラムが組まれていない。
- ・形式だけで、地域に合った水防工法が使われていない。
- ・会場の配置が行政中心で、その他参加者への配慮が足りない。
- ・積極的に参加している水防団員がほとんどいない。

これらの原因は行政側が絶対的主導権を握っていることにある。これは、「治水を補完する為に水防がある」つまり、水防が治水の一部であるという考え方に基づいている。このままでは治水を担う行政が本来自然災害である水害の全責任を負わされることになる。行政自ら「水害＝人災」という構図を地域住民に植え付けているのである。したがってまず行政が、本来の治水と水防のありかたを理解する必要がある。

4. おわりに

水防演習の実態調査をもとに、以下の留意点を提案したい。

1. 住民参加→行政参加
2. 地域性の強化
3. 演習形式→お祭り形式・技術演習の選択の明確化
4. 川と水防団との日常的なかわり方の改善
5. 水防資材の管理の改善
6. 江の川水防の方向性にこれからの水防のありかたが代表されよう

＜表― 1 ＞

日	実施場所	演習	参加者の状況	会場	P	R	その他
筑後川	5/14(火) 福岡県八幡市 (市街地)	シナリオを委託してショー化	中	興行があって見にくい	電車中吊り	良	演習後、クイズ大会 (賞品は流域特産品)
土器川	5/15(水) 香川県高松市 (市街地)	マニユアル型	中	整地が逆効果	P R 不足		演習に慣れていない
江の川	5/21(火) 鳥取県江津市 (市街地)	トライアル車での情報伝達演習。民間参加の通信回線復旧訓練	高	見易い	ポスター	良	工法を同時進行で行っていて、トンボが良かった。地域性に富んでいる建設省主導型
淀川	5/30(木) 大阪府高槻市 (市街地)	水防と地域防災の総合演習	高	ビジョンの位置が良い	P R 不足		技術は優れているが、高齢化地域防災演習の方が華やか身近なものを利用した工法
天竜川	5/28(火) 長野県長野市 (市街地)	小学生による豆水防団の参加	高	広さを感じさせなかった	ポスター	良	地域性に富んでいる
利根川	5/18(土) 茨城県利根市 (市街地)	マニユアル型	低	広すぎて見にくい	ポスター	良	伝統的な工法、建設大臣参加のため固い雰囲気
阿賀川	6/ 4(火) 新潟県阿賀町 (市街地)	建設省の手作り	中	一般席に気を付けていた	P R 不足 商店街での実況中継	良	準備工有り
馬淵川	6/ 6(木) 青森県八戸市 (市街地)	大学・高校生が水防団として参加。地元色が強い	中	広さを感じさせなかった	事前に参加車のパレード	良	物産展開催
石狩川	6/12(木) 北海道石狩市 (市街地)	工法の訓練的	低	沼を整地して作った。一般席なし	事前にディナーショー	良	演習のための建設省の管理が強い 一般見学者を対象としていない あくまでも訓練